

上牧町に対するバリアフリー基本構想に対するパブリックコメントへの回答

意見（要約）

①

【64ページ】バス 事業者:奈良交通株式会社
バリアフリー適合車両の順次導入は10年後からのスタートではなく、適宜スタートが望ましい。2004年からノンステップバスの国の認証制度がスタートして、既に14年が経過しています。今後さらに10年後にスタートでは実施しないに等しい。バスロケーションシステムについても様々なシステムが存在します。あまりコストがかからなくて、利用者に親切なガイダンスができる仕組みを順次導入してください。

②

【64ページ】公共施設巡回バス 事業者:上牧町
ノンステップバスの導入は全ての車両を一気にするのではなく、財政と相談しながら進めていくので、短期から中期へと時間を要します。長期からではありません。これは、実施しないということになります。
車高が低いので、走行領域の道路の凸凹の問題調査とコストが高いので、価格の検討等と自動車メーカーの技術開発の進展を絶えずウォッチし導入計画を立案します。
それまで何もせず待つのではなく、町の巡回バスには軽量で且つ強度のある発砲スチロール製のもので、バスの乗降時に運転手が準備することは可能です。

③

【65ページ】
区間(1)の左右の歩道はデコボコが多く、自動車で行く場合は大変危険です。段差・勾配の解消はできる限り早い時期が望ましい。これを解決しないと視覚障害者誘導用ブロックの設置も無理です。この区間の視覚障がい者の歩行は当面介助者が必要です。また区間(3)のルートは左右の歩道は特に障害物もないので、段差・勾配の解消は短期で逐次工事が進めていくことが可能だと考えます。

回答

①

奈良交通では、P15に示しているとおり660両運行しているなかで、266台のノンステップバスが導入されています。順次導入されており、〇が付いている10年又は10数年後には、全てのバスについて、導入が完了するものとしておられます。
また、バスロケーションシステムについても10年後には、導入完了するものとしておられます。

②

平成29年度にコミュニティバスのアンケート調査を実施しました。そのアンケート調査をもとに今後どうするかを検討したいと考えています。また、ノンステップバスの導入には、ご指摘のとおり財政と相談しながら進めていく必要があり、利用者負担の導入やバスの運行に関する委託方法を考えなくてはなりません。公共施設巡回バスの運行については、奈良交道路線バス・民間タクシー事業者と競合することで、路線バスの路線廃止や運行の削減があり得ると考えていますので、総合的に町民の交通利便性が低下する場合がありますため、慎重に検討していきたいと考えます。

③

現在、区間(1)における歩道幅員については、快適な移動空間とは言えない状況であります。ただし、この区間については沿道利用の観点から、隣接している建物との高さを考慮して進めていく必要があり、時間も要しますので、中期の整備目標とさせていただきます。また、区間(3)の段差・勾配の解消についても、同様に中期の整備目標とさせていただきます。ご意見いただきました区間については県道になりますので、県とも調整させていただきながら、可能な限り早期に実現できるよう検討していきます。

上牧町に対するバリアフリー基本構想に対するパブリックコメントへの回答

意見（要約）

回答

④

【66ページ】

区間(4)(5)(6)(8)舗装と段差・勾配の解消は中期を目標に計画をお願いしたい。

④

区間(4)については、補助金を活用し、一部舗装整備等は終わっておりますが、区間(4)において解消されていない段差・勾配及び区間(5)(6)における段差・勾配の解消については、整備に係る予算措置に時間を要することから、いずれも長期の整備目標とさせていただきます。今後、可能な限り早期に実現できるように検討していきます。(8)については生活関連施設の設定がないため、経路から除外しています。

⑤

【68ページ】

道から役場施設内へのスロープは現在でも存在しますが、少し幅が狭いので、車いす利用者が通りやすくなるように幅を広くし、3ヶ所程度設置すべきだと考えます。玄関側、左右2ヶ所、反対側1ヶ所がいいのではと考えます。経済的なスロープで短期で実施できるのではないのでしょうか。

案内情報の分かりやすさは日常の総合案内窓口の情報案内を工夫して、緊急時に対応すればいいので、特別考える必要はないのでは？

⑤

平成28年度に上牧町公共施設等総合管理計画を策定いたしました。今後バリアフリー基本構想と連携した役場庁舎の公共施設個別計画を平成32年度までに作成する予定としており、その際に道から施設内へのスロープについても計画し実施していきたいと考えています。

分かりやすい情報提供については、住民サービスの向上に繋がり、さまざまな情報バリアのある要配慮者に対しても情報提供ができるような方策を考えていきたいと考えています。

⑥

【69・70ページ】

2000年会館及びペガサスホール、中央公民館は初めて来館した人に、何がどの場所にあるのかがわからない。建物内の案内がわかるように早急に対応する必要がある。簡単な音声ガイド付きの案内を入りに設け、トイレの場所は表示板で指示してもらいたい。

⑥

2000年会館正面玄関の自動ドア入って左側に、中央公民館については入口左側に、ペガサスホールについては入口右側に、案内図を設置し、トイレについてもトイレの前に表示はしているもののわかりにくいのご指摘と考えますので、初めて来館した人にわかるように案内板の設置について、検討したいと考えます。上牧町公共施設等総合管理計画を策定いたしましたので、今後バリアフリー基本構想と連携した各施設の公共施設個別計画を平成32年度までに作成する予定としており、その際に検討していきたいと考えます。

上牧町に対するバリアフリー基本構想に対するパブリックコメントへの回答

意見（要約）

回答

⑦

【65ページ】
整備目標の時期を基準適用年度としたらどうか。

⑦

財政等の状況も鑑みて総合的な視野に立ち推進協議会でき取り組んでいきたいと思ひます。

⑧

【67ページ】
文化センター下の遊歩道交差点の設置について、南都銀行前の交差点を車用の信号だけにして、横断歩道を廃止し、遊歩道の横断歩道に割り当てたらどうか。

⑧

ご意見をいただいている箇所への横断歩道の設置については、関係機関と協議をしましたが、困難な状況です。

⑨

【65～70ページ】
実施すべき特定事業全般において、整備目標のほとんどが10年以上とされていることが残念。

⑨

各特定事業は、整備条件また必要な費用などを検討したうえで目標期間を設定しております。財政等の状況も鑑みて総合的な視野に立ち、早期に整備できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

上牧町に対するバリアフリー基本構想に対するパブリックコメントへの回答

意見（要約）

回答

⑩

【全般】

基本構想を策定しても、工事の際にバリアフリーのことを忘れてしまってダメなので、情報の共有を図り、現場の方々への教育も含めて、バリアフリー化を推進していただきたい。

⑩

本基本構想に基づくバリアフリー化にあたっては、取組主体となる各事業者との情報共有はもちろんのこと、内部においても、職員へのバリアフリーに関する知識、意識の啓発に取り組み、共通認識のもとで推進して参ります。

⑪

【60ページ】

生活関連施設、生活関連経路(特定事業路線)は指定されているが、重点整備地区については「上牧町役場周辺」という文言のみで、明確に設定されていないがこれで問題はないのか。

⑪

関係機関に確認したところ、ご指摘のとおり、バリアフリー法に基づいて策定するバリアフリー基本構想については、重点整備地区の範囲を明確に示す必要があるという回答をいただきました。町民提案の趣旨、協議会での承認事項を尊重し、生活関連施設及びそれらを結ぶ生活関連経路のみを重点整備地区として設定することとします。

⑫

⑫